

令和6年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：生物資源学研究科

事業担当者の職・氏名：准教授・瀧上佑樹

内線電話番号：9491

電子メール：fuchigami@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

Forest Student Exchange Program UNMUL-KPU-MU-KU in Japan

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要 (簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください)

本学生物資源学部と学部間協定を結んでいるインドネシアのムラワルマン大学森林学部から 2024 年 6 月に訪日した学生 12 名に対し、国際交流プログラムを実施した。主催は京都府立大学で本学は共催となる。約 2 週間のプログラムの一部を本学で担当し、生物資源学部での講義とキャンパス視察、本学学生との交流、近隣の林業・木材産業に関係する施設の視察等を行った。

(2) 事業の背景・これまでの実績

2022 年から、インドネシアのムラワルマン大学と日本の三重大学、京都大学、京都府立大学の間で、森林科学を学ぶ学生の国際交流プログラムを実施している。プログラムは約 2 週間で、2 月には日本の学生がムラワルマン大学を訪問し、講義や学生交流、現地視察、体験実習などを行っている (主催: ムラワルマン大学)。反対に、6 月にはムラワルマン大学の学生が日本を訪問し、同様のプログラムを実施している。

(3) 事業実施結果

生物資源学部での松村学部長あいさつ、国際交流委員会の中島教授による講義が行われ、その後キャンパス内の抵抗性マツ試験地、風力発電、レーモンドホール等を視察した。その後、大学を発ち山地緑化保全地 (大津市田上) 等を視察した。



本学での集合写真



抵抗性マツ試験地の視察

(4) 事業の意義

6 月に開催した本プログラムの企画・実施には同年 2 月にムラワルマン大学が実施した現地プログラムの参加学生が関わっている。当該学生にとって本プログラムへの関与は、現地プログラムで得た学びを継続し深める効果がある。

(5) 事業の発展性

ムラワルマン大学との国際交流プログラムには、本学生物資源学部から毎年 3~5 名の学生が参加している。これらの OBOG を中心に、プログラムで得た知識や現地の課題などを学内で発表する機会を持つことが企画されている。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

中期目標 (8)、中期計画 (8) - 1

(7) その他

令和6年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

2024年6月に、生物資源学部と学部間協定を結んでいるインドネシアのムラワルマン大学森林学部から学生12名が三重大学を訪れました。生物資源学部の国際交流に関する取り組みや森林・林業に関する教育研究に関する講義を行ったのち、抵抗性マツの試験地や国登録有形文化財の木造建築「レーモンドホール」などを視察しました。また、三重大学訪問後は、滋賀県大津市田上地区にある山地緑化保全地の現地視察も行いました。

ムラワルマン大学森林学部とは、国際学生交流プログラムを実施しており、毎年2月には生物資源学部の学生がムラワルマン大学のあるボルネオ島に行き、熱帯多雨林の保全・利用と修復について学んでいます。このプログラムの継続により、両大学の交流と学生の森林科学に対する理解が深まっています。



本学での集合写真



抵抗性マツ試験地の視察

令和6年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

In June 2024, 12 students from the Faculty of Forestry, University of Mulawarman, Indonesia, which has an inter-faculty agreement with the Faculty of Bioresources, visited Mie University. After lectures on the international exchange activities of the Faculty of Bioresources and on education and research in forest and forestry, the students visited a test site for resistant pine trees and Raymond Hall, a wooden building registered as a national tangible cultural property. After the visit to Mie University, the group also made a site visit to a mountain greening conservation area in the Tanakami district of Otsu City, Shiga Prefecture.

Mie University has an international student exchange program with the Faculty of Forestry of Mulawarman University. Every February, students from the Faculty of Bioresources travel to Borneo Island, where Mulawarman University is located, to learn about the conservation, utilization, and restoration of tropical rainforests. The continuation of this program has deepened the exchange between the two universities and the students' understanding of forest science.



Group photo



Inspection of resistant pine test site